

1日目(11月5日 月曜日)				座長
14:00	0:10	小久保 英一郎 (国立天文台)	開会挨拶	(小久保)
14:10	0:30	白水 徹也 (京都大)	ブラックホールの数学的性質	
14:40	0:30	久徳 浩太郎 (KEK)	連星中性子星合体の電磁波対応天体	
15:10	0:30	親松 和浩 (愛知淑徳大)	現象論的原子核模型の超新星物質や中性子星物質への応用	
15:40	0:20	祖谷 元 (国立天文台/京都大)	巨大フレア現象と核物質状態方程式	
16:00	0:30		休憩	
16:30	0:30	高橋 慶太郎 (熊本大)	銀河間磁場で探る初期宇宙	(工藤)
17:00	0:20	山崎 大 (国立天文台)	原初磁場とビッグバン元素合成	
17:20	0:30	坪内 健 (東京大)	Pickup ionの衝撃波加速	
17:50	0:20	銭谷 誠司 (国立天文台)	無衝突磁気リコネクションのアウトフロー構造	

2日目(11月6日 火曜日)				
9:00	0:30	黒川 宏之 (MPA)	恒星XUV加熱による大気散逸が系外惑星の質量-半径分布に与える影響	(中村航)
9:30	0:20	堀 安範 (国立天文台)	中間質量星周りの惑星分布: hot Jupiterの起源に対する示唆	
9:50	0:20	小久保 英一郎 (国立天文台)	Formation of Terrestrial Planets from Protoplanets	
10:10	0:20	柴田 雄 (国立天文台)	微惑星の暴走的成長	
10:30	0:20		休憩	
10:50	0:20	大須賀 健 (国立天文台)	次世代輻射流体計算について	(藤本)
11:10	0:20	橋詰 克也 (国立天文台)	Super-Eddington 降着円盤	
11:20	0:20	野村 真理子 (お茶の水女子大)	ラインフォース駆動型円盤風による吸収線の起源の解明	
11:40	1:20		昼食	

13:00	0:30	麻生 洋一	(東京大)	重力波検出器開発の現状	(中村文)
13:30	0:30	関口 雄一郎	(京都大)	コンパクト天体連星合体の数値相対論シミュレーション	
14:00	0:20	滝脇 知也	(国立天文台)	スーパーコンピュータで迫る超新星爆発のニュートリノ加熱機構	
14:20	0:30	長倉 洋樹	(京都大／早稲田大)	Semi-Dynamical Approach to the Shock Revival in Core-Collapse SNe	
14:50	0:30	鷹野 正利	(早稲田大)	変分法による核物質状態方程式の天体現象への応用	
15:20	0:30			休憩	
15:50	0:20	中村 文隆	(国立天文台)	分子雲・分子雲コアの磁場構造	(堀)
16:10	0:20	工藤 哲洋	(国立天文台)	振動する孤立した磁気分子雲	
16:30	0:30	横井 喜充	(東京大)	乱流クロス・ヘリシティ: ダイナモとリコネクション	
17:00	0:30	今田 晋亮	(名古屋大)	太陽大気中における磁気リコネクション	
17:30	0:20	藤本 桂三	(国立天文台)	高速磁気リコネクションを可能にする磁気拡散機構について	

3日目(11月7日 水曜日)

9:00	0:30	川越 至桜	(東京大)	超新星ニュートリノと科学教育	(滝脇)
9:30	0:20	中村 航	(国立天文台)	超新星起源の放射性同位体元素	
9:50	0:20	柴垣 翔太	(国立天文台)	r-processにおける核分裂の効果	
10:10	0:20	鈴木 昭宏	(国立天文台)	GRB-SNeからの熱的X線放射と星周物質	
10:30	0:20			休憩	
10:50	0:30	岩上 わかな	(早稲田大)	Volume Penalization 法	(柴田)
11:20	0:20	富田 賢吾	(Princeton Univ.)	Athenaによる星-円盤相互作用の研究	
11:40	0:20	富阪 幸治	(国立天文台)	星間雲の平衡形状	
12:00	1:00			昼食	
13:00	0:30	本田 充彦	(神奈川大)	原始惑星系円盤の水氷観測	(富阪)
13:30	0:20	片岡 章雅	(国立天文台)	原始惑星系円盤におけるダストの静的圧縮過程	
13:50	0:20	藤井 顕彦	(国立天文台)	惑星リング局所計算コード開発の現状	
14:10	0:20	石津 尚喜	(国立天文台)	原始惑星系円盤における streaming instability	
14:30	0:10	富阪 幸治	(国立天文台)	閉会挨拶	